

鶴岡高専だより

148
2009・7





今年度も地域密着型高専として様々な取り組みを行ってまいります。(P.24「7月からの主な学校行事等」から)

目次

入学式式辞	2	電気電子工学科新入生	11
後援会長挨拶	4	制御情報工学科新入生	14
本校の教育目標について	5	物質工学科新入生	15
学生主事挨拶(充実した学生生活を)	6	専攻科新入生	16
学生会長挨拶(「頑張る学生会」を目指します!)	6	編入学生・新留学生	17
寮務主事挨拶(学寮生活について)	7	「環境やまがた大賞」受賞	17
寮生会長挨拶(寮生会の抱負)	7	学生会広報「鶴報」特別版	18
専攻科教育の現状と今後の充実に向けて	8	平成20年度資格取得者一覧	19
鶴岡高専の地域連携	8	学生相談室のご案内	20
図書館だより「東雲」	9	高専ロボコン2009東北地区大会	21
新入生・編入生 一人一言		離着任者挨拶	22
機械工学科新入生	10	インフォメーション	24

発行 平成21年7月 鶴岡工業高等専門学校広報委員会 〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田104
本校ホームページ<http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/>では「鶴岡高専通信一保護者の皆様へ」として、毎月タイムリーな情報をお届けしております。

入学式 辞

— 井岡の地で青春を精いっぱい謳歌しよう! —

本日ここに、新入学生の保護者のみなさまのご臨席を賜り、平成21年度鶴岡工業高等専門学校本科および専攻科入学式を挙げていただきますことは、本校構成員および関係者一同にとりましてこの上ない喜びでございます。

本科および専攻科に入学されましたみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんのご入学を心から祝福し、お慶びを申し上げます。

本日、3年次および4年次への編入学生5名を含めまして、本科165名、専攻科29名、合わせて194名が本校に入学されました。この中には遠く海外からの留学生2



名も含まれております。

鶴岡高専はみなさんのご入学を心から祝福し、歓迎致します。みなさんは今日から、鶴岡高専の一員であります。否、鶴岡高専にとりまして最も大切な主役であります。主役であるからには、主役としての自覚と誇りを持って日々よく勉学や課外活動に努め、積極的に行動し、そして生活していただきたい。

保護者のみなさま、ご子息、ご令嬢の本校へのご入学まことにおめでとうございます。心からお慶び申し上げますとともに、本校を進学先選ばれ、長年にわたり、愛情深く、大切に養育されましたご子息、ご令嬢を私たちにお預け下さいましたこと、まことに有り難く、心から厚くお礼申し上げます。お預かり致しましたからには、私たち教職員一同、みなさまのご子息、ご令嬢の教育や研究指導、課外活動や生活の指導に、誠心誠意努力することをここに約束申し上げます。

鶴岡高専は、産業界からの強い要望に応え、即戦力になりうる実践的技術者を育成する国立工業高等専門学校の一つとして、昭和38年1月に鶴岡市への設置が決定され、同年4月に機械工学科と電気工学科の2学

科について学生の受け入れを開始しました。その後、現在の物質工学科の前身であります工業化学科、機械工学科の改組による制御情報工学科、さらには教養科目を担当します総合科学科が逐次新設され、現在の5学科体制になりました。

平成15年4月には機械電気システム工学専攻と物質工学専攻から構成されます専攻科が設置されました。

さらに、平成16年4月には、全国55の国立高専が一つの独立行政法人になり、現在に至っております。

このように、みなさんの鶴岡高専には40有余年の長い歴史と伝統があります。

次に、鶴岡高専における、特色ある教育につきまして簡単にお話ししましょう。

本科におきましては、教養科目と専門科目がそれぞれくさび型、逆くさび型に配置されて、5年間の一貫教育により、効果的かつ効率的に教育が行われております。

また、5年間の本科教育の上に、さらにより高度な科学技術に関する教育および研究を行うために、2年間の専攻科が設置されております。

本校におきましては、優れた先生方により、質の高い教養教育、専門教育はもちろんのこと、コミュニケーション能力を育成するための国語教育、将来世界を舞台に活躍するために必要な英語の教育も重要視され、強化されて実施されております。



新入学生代表宣誓

さらに、みなさんのような成長期の若者に必要な、健康な心や体、豊かな人間関係、社会生活における規則やルールへの適応性などを養うために、スポーツや文化関係の課外活動が強くすすめられております。

鶴岡高専におきましては、教室や研究室、あるいは実験室において先生方からみなさんが受ける「受動的」な

教育に加えまして、創設以来40有余年の長きにわたり校訓として掲げております「自学自習」にもとづく「能動的」な教育が行われております。この校訓は、みなさんが自らの意志で、積極的に学び、習い、そして考えることを要請しております。このような受動的な教育と能動的な自学自習を併せて実行することが、創設以来の本校の教育方針であります。



宣誓書を手渡す編入学生代表

このような優れた教育方針の成果としまして、鶴岡高専には40有余年の長い歴史と輝かしい伝統に加えて、数多くの優れた人材を社会に送り出してきたという誇るべき、素晴らしい実績があります。

本校を卒業され、母校鶴岡高専の教授や准教授、助教あるいは技術職員として活躍されている先輩は数多くいます。また、多くの公的機関や会社において重責を担い、活躍されている先輩も数多くいます。さらには、高専独自の体育大会、ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、デザインコンペティション、プレゼンテーションコンテスト、などの東北地区大会や全国大会におきましても、みなさんの先輩たちは多くの優れた成績を残しております。厳しい入学試験を乗り越えて、本校に入学されましたみなさんには、あふれんばかりの若さがあります。バイタリテイがあります。さらにはご両親から与えられた、優れた才能と実力があります。みなさんの未来には無限の可能性があります。みなさんがその可能性を信じ、自分の持てる才能と実力を活かし、そしてそれらを大きく花開かせて、このような数多くの優れた先輩たちに負けないご活躍をされることを、私たち教職員一同は心から希望し、期待しております。

みなさんは将来への大きな夢と希望に胸をふくらませて、本校に入学されたことと思います。ここ鶴岡高専はみなさんの若くて、熱い夢を、さらに大きく育てるところであります。そのために、本校におきましてみなさんは日々よく勉学に精進し、また課外活動にもよく努力していただきたい。そして、本校においてめぐり合えた多くの友だちとの間に強い友情を育て、一生付き合える友だちを作ってください

たい。

さらに、自らの生き方を模索しつつ、人間をみがき、広い知識と豊かな人間性、そして創造性を身に付けていただきたい。

同時に、みなさんはみなさんを取り巻く社会情勢にも目を向け、関心を持っていただきたい。地球規模の環境汚染や温暖化が進行し、また宗教や民族間の争いが絶えず、毎日多くの貴い人命が失われ、さらには昨年来世界規模の金融危機、経済恐慌の大きな嵐が吹き荒れている世界の現状、礼儀正しさや勤勉さ、誠心や公德心のような、日本的な良さが失われ、詐欺や偽装、不正などが絶えることなく、精神面において深く悩んでいる日本の現状、などにも目を向け、関心を持つことも忘れないでいただきたい。

みなさんは、これから科学技術について学び、そして深く関わっていくこととなりますが、この科学技術は人々の日々の生活を楽に、そして豊かにするという大きなメリットと、一つまちがえば世界の平和と安全をおびやかし、人類の幸福と繁栄を破壊してしまうという大きなデメリットを合わせ持っております。みなさんは、この事実を心にとどめおいて、折にふれて思い出し、これからの日々勉学



や課外活動に精進していただきたい。

私たち教職員一同は、みなさんの大きな夢の実現をお手伝いすべく、みなさんの教育や研究指導、課外活動や生活の指導に誠心誠意努力する決心をしております。

みなさんは、私たち教職員を心から信頼していただいて、豊かな自然に恵まれ、歴史と文化の香り高い、この鶴岡の地にあります、みなさんが主役の、みなさんのためにある、みなさんの鶴岡高専におきまして、楽しく、生き生きと、そして心豊かに、充実した、有意義な学生生活を送っていただきたいと心から希望し、期待して校長式辞と致します。

平成21年4月5日

鶴岡工業高等専門学校長

横山 正明

後援会長挨拶



後援会長 佐藤伸一

鶴岡工業高等専門学校に夢と希望を託し第一志望としてみごとに合格された新入生と保護者の皆様、誠におめでとうございます。また、後援会の趣旨をご理解いただきありがとうございます。

この度、後援会長を仰せつかり多少の不安もありますが、副会長以下役員・事務局・会員の皆様、そして学校長をはじめとする学校関係の皆様のご支援を頼りになんとか役目を全うしたいと思います、どうぞよろしくお願いいたします。

4年前、三男が入寮の際に手伝ってくれた先輩寮生の懸命さに感激したこと、入学式の午後、後援会定期総会が手強い睡魔との闘いだったことが思い出されます。(資料には目を通したつもりでした)

後援会と関わりの少なかった私が昨年、役員を依頼された折、大いに役に立ったのが学校のホームページでした。写真入りのタイムリーな情報をはじめ、兎追いの獲物が寮食のおかずになったとか、全国大会優勝までの部活動のようすなど、諸先輩の苦労や伝統、学校関係者の情熱が伝わってきます。また専攻科の設置、JABEE認定、スーパー高専構想など進化を続けていることもよくわかります。高校というより大学要素が凝縮されています。

ホームページの役割は、関係者だけではなく科学に

興味のある小中学生、地域へと広く本校を知ってもらうために、ますます重要になることは間違いありません、私も活用させていただきます。

本校の教師・学校関係者各位には個性・専門性を生かし研究・地域貢献など多方面で活躍されている方が非常に多く、学生にとっても誇らしいものです。学生に対しても親身に、さらに一人の大人として接して下さるので非常に嬉しいことです。この指導姿勢が学業はもとより課外活動での活躍と充実につながり、学生一人ひとりをしっかりと成長させているのだと思います。寮生活も同様に厳しい中でも工夫して実に楽しく暮らしているようです。

先日、卒業式を拝見させていただきました。卒業生・修了生の晴々とした表情、すっかり大人になった振る舞い、凜とした姿。誇らしく見守る学校関係者と保護者。ここを目標にしたいと思います。

4年間の感想を並べたような挨拶になってしまいました。

経済の低迷など厳しさが続いている時勢ですが、学校の充実・学生の成長のために、学校行事へのご参加、特に地区別保護者会については積極的にご参加・ご活用いただきたいと思います。重ねてご協力お願い申し上げます。

◎役員名簿

会 長	佐藤伸一(5B)		
副 会 長	佐藤幸一(5M)	落合孝(4I)	今野吉徳(4B)
理 事	白幡美枝(5I)	蛸井恵美(5B)	今野広美(4M)
	中村祐子(4E)	阿部寛(4B)	伊藤康(3E)
	田村喬(3I)	加藤良哉(2M)	坂井修士(2E)
	舟腰秀樹(2I)	斎藤豊(2B)	菅原義男(1M)
	佐藤多巳哉(1E)	渡部敬(1I)	関本正美(1B)
監 事	佐藤淑子(5E)	星川英樹(3M)	佐藤徹(3B)

◎地区別保護者会会長

鶴岡・田川	酒田・鮑海	新庄・最上
落合孝(4I)	廣井美樹(3I)	小屋正人(4M)
山形・村山	置賜	新潟
石山仁(5E・3E)	竹田利弘(5M・2I)	笹山聖一(4B)

(M—機械工学科、E—電気電子工学科、I—制御情報工学科、B—物質工学科) (敬称略)

本校の基本教育目標について

教務主事 山内 清



1. 鶴岡高専とはこんな学校

○高専は昭和37年に「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する」ことを目的に設置され、47年の歴史があり、国立高専は全国に55校あります。本校は昭和38年度に開学しました。

○平成16年から独立行政法人国立高専機構法により、国立高専機構に属する「国立高専」になりましたが、基本的な性格には変わりありません。高専は準学士課程の上に2年の専攻科課程をもつことになり、法律上も「職業に必要な実践的かつ専門的な知識および技術を有する創造的な人材を育成する」、「高等教育」の機関とされました。

○高専は、「5年間の一貫教育」によって「準学士」号を出せるユニークな学校です。さらに、専攻科を修了し、所定の条件を満たすと、大学卒と同じ「学士号」がとれ、大学院に直接進学できます。

○大学の工学部と比較すると、専門科目の単位が多く、理論の勉強とともに実験・実習を重視しています。

○地域密着型高専を校是とし、山形県の技術レベルの向上をになう教育をおこなっています。

○準学士課程(本科)学生は15～20歳と幅があるので、心身の発達程度を十分考慮した教育や学生指導を行っています。

2. 対外的にも基本教育目標等を明確にした

以上のような、本校の基本性格は対外的にも認証を受けています。すでに平成17年度にJABBE(日本技術者教育認定機構)による評価を受け、国際的な高等技術教育のレベルにある学校として認定されています。19年度には、法律に基づいて、大学評価・学位授与機構による高専として「機関別認証評価」を受審し、「基準を満たしている」と認定されています。この二つの認証の際、本校は45年以上の教育実績をふまえ、基本教育目標等に明文化しました。事実上行ってきたことを文章にしたのです。18年度の学生便覧やシラバスから、その冒頭に掲げて、教室には1年中張り出しています。少し解説してみます。以下の解説文は山内個人が本校を語る際のメモに拠るものです。

3. 本校の基本教育目標

(1) 豊かな人間性と広い視野を持ち、社会人としての倫理を身につける。

(2) あらゆる学習を通じて思考力を鍛え、創造力に富んだ技術者になる。

(3) 専門分野の基礎を良く理解し、実際の問題に応用できる能力を培(つちか)う。

(4) 意思伝達及び相互理解のため、十分なコミュニケーション力を養う。

4. 基本教育目標の構成

(1) で、本校の基本は「社会人としての倫理」を持った人材を企業等へ送り出す機関であると明確にしています。そのため「豊かな人間性と広い視野」を5～7年間で「身につけ」させます。もちろん他大学に編入したり、専攻科から大学院に進学したりすることも「社会人」の一環です。

(2) では、「社会人」にも農業、営業、経理、サービス業などいろいろな職種があるなかで、「技術者」の形で社会に送り出すことを基本にしています。高度に発達した技術立国が使命の日本では、それをになう技術者には、一般科目を含め「あらゆる学習」の場で「思考力を鍛える」こと、「創造力に富む」ことが要請されます。

(3) では、(2)をさらに専門科目に絞り込んで、下級生では「専門分野の基礎を良く理解し」、上級生・専攻科生では「実際の問題に応用できる能力を培う」と、授業の性格を明確にしています。

(4) では、在学中の全期間を通して、社会人になるために必要な「十分なコミュニケーション力を養う」ことを強調しています。国際社会における社会人になるには、狭い専門分野のための知的能力ではなく、「意思伝達及び相互理解のため」に必要な語学力や一般教養が必要です。5～7年間の一般科目の重要性を規定したものです。

5. 学習教育目標やカリキュラム編制

以上の基本教育目標はさらに「養成する人材像」やシラバスにある「学習・教育目標と具体的な到達目標」でさらに豊富化されています。

基本教育目標は本校のカリキュラムにも具体化されています。低学年では一般科目が多く高学年になるに当たって専門科目が多くなるくさび形の構成になっています。語学や卒業研究、実験・実習、製図などを重視しています。

学生諸君はこの機会に基本教育目標等に目を通し、今勉強していることの意味を考えてみて下さい。

充実した 学生生活を

学生主事 岡崎 幹郎



1.「おくりびと」

庄内地方を舞台にした「おくりびと」が今年のアカデミー賞外国映画賞に輝きました。主人公のきまじめな生き方や所作に、また他の出演者に心のぬくもりを強く感じました。同時に「人間の尊厳」、「他人への思いやり・優しさ」そして「仕事や周囲の人への感謝」といったものを思い起こさせてくれました。この映画は、不況下で疎外感にあえぐ世界の人々にも深い感銘を与えていると報道されています。

「おくりびと」は、われわれに、学校で学ぶことや社会で働くことの意味など、その原点を改めて問いかけているように思えます。

2.本校で学ぶこと

本校は技術系の高等専門学校という教育機関であり、学生諸君には、校訓の「自学自習」・「理魂工才」に則り、幅広い専門知識の獲得能力と教養を身につけること求めています。また、学年の枠を超えた集団生活を通して、「自主、規律、忍耐、協調、友情、責任」といった人格形成を図る目的で、クラブ活動、ロボコン、学生会、高専祭、さらにボランティアなどの課外活動を奨励しています。

常に社会ルールを遵守し、目的と目標を持ち、勉学と課外活動の両立「文武両道」を図り、充実した学生生活を送っていただきたい。たくましく成長して本校を巣立つことを期待します。

3.良い友人・ライバルを持つ

学校生活を送る中で悩みを抱えたり、挫折を味わうことは当然あると思います。その時は、「悩み」や「挫折」を今後の発展のバネであると積極的な意味合いで捉えて下さい。問題によっては時間が解決してくれます。焦る必要はありません。学生相談室(20ページ参照)も利用して下さい。また、好きな音楽や読書、友人との語りも手助けしてくれると思います。

さて、自分自身をよく知るためには、自分を映し出す「良い友人」・「ライバル」を持つことも大切です。そのために、まず自分自身を高めること、次に相手を理解する努力と感性が求められます。一生の宝となる良き友人・ライバルを高専時代に得て互いに切磋琢磨し、大きく成長することを祈念します。

「頑張る学生会」を 目指します!

4年機械工学科 小屋 重誠



現在、学生会では様々な活動をしています。プルタブ回収や週一度の校内ゴミ拾い、広報誌の作成、田川地区高校生徒会と連携してのマナーアップ活動、学生会総会・校内体育大会・東北大会壮行式といったイベントの主催や協力、冬季イルミネーションの実施等々、積極的に取り組んでおります。

毎年夏季に開催される、東北地区や全国規模での学生会交流会で得た知識や情報をいかして、一層充実した学生会活動を展開したいと思います。

皆様の御理解と御協力を得ながら、学内はもとより、地域社会にも愛される学生会となることを目指して鋭意努力して所存です。

- 副会長 3年電気電子工学科 結城 亮平
精一杯頑張ります。よろしくをお願いします。
- 書記長 4年機械工学科 滝口 朝幾
本年度一年よろしくをお願いします。
- 書記 3年電気電子工学科 相馬 達成
与えられた仕事を頑張ります。
- 書記 2年制御情報工学科 伊藤 寛祥
立場にふさわしい言動をしてきたいと思います。
- 渉外長 3年電気電子工学科 押切 舞
一生懸命頑張ります。
- 渉外 3年電気電子工学科 石山 優
自分から仕事を見つけ、精一杯頑張ります。
- 渉外 2年電気電子工学科 坂井 洋介
責任を持って頑張ります。
- 会計長 4年物質工学科 石川 雅俊
学生会メンバーと一致団結して頑張ります。
- 会計 2年制御情報工学科 高橋 悠希
丁寧、且つスムーズな会計活動を心がけます。
- 会計 2年機械工学科 余語 麻瞳香
与えられた仕事には責任を持って頑張ります。
- 会計 2年物質工学科 柴崎 真緒
迷惑を掛けないう、仕事をきちんとこなします。
- 広報長 3年電気電子工学科 菅埜 諒介
学生会広報はがんばっている人を応援します!
- 広報 2年制御情報工学科 田村 和輝
ひたすら鶴報を書き続けます。
- 広報 2年機械工学科 和田 裕介
新参者なりに頑張ります。

学寮生活について

寮務主事 鈴木 建二



新年度から寮務主事を務めることになりました。よろしくお願いいたします。私が学寮の仕事に携わるのは、今から20年以上も前に寮務主事補をして以来ですが、あらためて学寮関係の教職員のご苦勞を感じさせられています。現在、本校の学寮「鶴鳴寮」「明泉寮」の寮生総数は約430。これだけ大規模な寮を円滑に運営していくことが、いかに大変な仕事であるかを痛感させられ、身の引き締まる思いです。

開寮にあたっては、指導寮生、寮生会役員全員の献身的な大活躍のおかげで、新入生は非常にスムーズに入寮することができました。そして、保護者の皆さんに感謝の言葉をいただくことができました。おかげで、新一年生は落ち着いた学校生活を送っています。これからも良き先輩として指導してほしいと思います。

私が寮生諸君に申し上げたいことは、二つあります。まず一つは、学寮はホテルや旅館ではないということです。学寮は単に快適さや便利さだけを追求するところではありません。これだけ大勢の人間が生活するわけですから、おのずからいろんなきまりやルールがあります。是非、寮生活を社会性を身に付ける絶好の機会と捉えて欲しいと思います。若いうちに、いろんな人間に出会うことは、成長のために大変有意義であると思いますが、是非、寮生活をそのような場として前向きに考えてほしいと思います。

もう一つは「隗より始めよ」ということです。この言葉は「大きなことを考える前に、身近な目の前のことをきちんとやり遂げる。」というような意味です。具体的には、まず、毎日の日課表をきちんと守り、学校を休んだり遅刻することの無いようにするというようなことです。学寮内には週番長や清掃当番など色々な仕事がありますが、それぞれが責任を持って、このような仕事に取り組んで下さい。

「鶴鳴寮」は昭和39年に開設以来45年の長きに渡って幾多の有為な若者を社会に送り出してきました。是非、先輩達の築いてきた良き伝統を引継ぎ、さらに良い学寮にして欲しいと思います。

寮生会の抱負

4年機械工学科 本間 譲



皆さんは寮生活に対してどんな思いを抱いているでしょうか。ルールに縛られ、自由も何も無いなんて思っていないですか。

しかし、そんなことはありません。寮生全員一人一人が規則を守った上で、自由の中で過ごしています。また、普段の生活でも寮生同士同じ仲間として学年を超えて付き合いをし、お互いに助け合っています。

皆さんが将来社会に出て活躍するために必要なものは、この鶴岡高専、そして鶴鳴寮に揃っています。あとは皆さんがそれを引き出せるかどうかです。一人ではつらくとも仲間となら案外出来るものです。私達寮生会も、鶴鳴寮が皆さんにとってより良い寮になるように頑張ります。

平成21年度 寮生会役員

会 長	4M 本間 譲
副 会 長	3M 牧野貴晃
総務委員長	4E 井澤祐輔
総務副委員長	3B 鈴木 錬・2B 太田優輝
文化委員長	4I 佐藤 諒
文化副委員長	3E 本間雅人・2I 片桐健弥
体育委員長	4E 佐藤成希
体育副委員長	3M 伊藤猛晋・2B 佐久間匠
厚生委員長	4B 井上祥宏
厚生副委員長	3I 御船雄太・2M 鈴木直人
会計委員長	4M 寺嶋 陸
会計副委員長	3B 遠藤直道・2E 昆 憲英
監 査	4M 江川絃貴・4E 堀 隼人

専攻科教育の現状と 今後の充実に向けて

専攻科長 宮崎 孝雄



本校の専攻科は平成21年3月に第5回目の修了式を迎え、これまでに87名の修了生が社会や大学院で活躍しています。専攻科教育は、従来の5年間の本科教育の上にさらに2年間、専門能力や語学力を深め研究能力や問題解決力に優れた技術者を育成するものです。専攻科修了者は、大学評価・学位授与機構から大学卒と同じ学士の学位が授与されます。また、大学院への進学が可能です。これまで、本校専攻科から11名が新潟大学などの大学院に進学しています。専攻科の長所は、授業料は本科と同じで国立大学の半分以下である、就職が有利である、授業や研究は本科と連携しており効果的に学ぶことができる、などが挙げられます。

専攻科教育の最近の状況を見ますと、本科卒業生のトップレベルが専攻科に進学するようになったこと、就職においては本科以上の高い求人倍率を達成していることなど、その実績は年々高まっています。一つ課題を挙げるとすれば、大学院への進学率を現状の平均13%から20~30%まで高めることです。特に、東大、東工大、東北大といった最高水準の大学院への進学実績を作りたいと考えています。

本校のトップレベルの学生はその能力が十分にあります。

本校専攻科が今後更に充実してゆくためには、本科の優秀な学生に進学してもらうことが何よりも重要です。そのためには、以下の点について継続的な努力が必要と考えます。

- 1) 社会や学生の要望に答えるカリキュラムの継続的改善(科目の精選と適切な水準)
- 2) 教員の教育研究活動の活性化
(学生の知的意欲を惹起する研究テーマ)

1)に関して、近々専攻科修了生や企業関係者に対してアンケートを実施し、専攻科教育の改善に向けての知見と情報収集を行なう予定です。2)に関しては、各教員が専攻科充実に向けての意識を持ち地道で着実な努力を継続する以外に方法はないのだらうと思います。幸いにも、本校では優秀で意識の高い若い先生が年々増えており専攻科の未来は明るいと考えています。

鶴岡高専の地域連携

地域共同テクノセンター長
佐藤 貴哉



本年4月から、地域共同テクノセンター長を務めている佐藤貴哉です。前センター長が育ててきた産官学連携の輪を維持、発展出来るよう努力していくつもりです。今後ともよろしく願いいたします。

鶴岡高専は5年ほど前から『地域密着型高専』を標榜し、地域と共に歩み充実発展する途を選びました。その中核となる地域共同テクノセンターは地元企業との共同研究を進め、地域産業の技術力向上と教育研究の活性化を行うことを目的として設置されています。活動の3本柱は、①地域企業への技術支援、②地域企業との共同研究推進、③地域住民への技術啓発活動です。

『本校教員は庄内地域のホームエンジニア』という気持で、教職員それぞれが自らの専門知識と経験を地元の課題解決に役立てたいと考えています。平成20年度も、自然エネルギーの有効利用や省エネルギー照明、各種部品の製造技術、バイオディーゼル燃料に関する事など、地元企業より10件以上の技術相談を受けました。技術相談から共同研究に発展したケースも数多くみられます。

昨年度は企業、鶴岡高専技術振興会、大学、経済産業省など、学外との共同研究や受託研究が29件に上りました。そのひとつとして地元企業と連携し、本校教員の持つセンサー技術を基礎とした画期的な食品検査装置が開発されました。他にも小型風力発電やマイクロ水力発電、新しい太陽電池、高効率で安全な新型電池など、エネルギーとエコロジーをキーワードとする時代の要望に応える先鋭的な共同研究も進められています。このように鶴岡高専の地域連携活動力の高さは、東北7高専の中でトップレベルに位置しています。

また科学技術を市民の皆さんに判りやすく説明する『市民サロン』講演会、最新技術情報を地域のエンジニアに伝えるための『産業技術フォーラム』、農学と工学の連携を目指した『山大高専ジョイント市民講座』などの技術情報の発信にも力を入れています。

今年度はさらにインターネットを利用した高専から地域への情報発信を多くしていきたいと思っています。地域の皆さんが高専に気軽に立ち寄りいただける環境づくりを進め、地域連携の輪を大きくしていきたいと考えています。学内外からのいろいろなお意見、ご提案をお願い致します。



図書館だより No.38



図書館長
小谷 卓

図書館に、学生からの要望を たくさん出してください。

昨年、学生諸君に「1人10冊以上」を目標に図書館をおおいに利用していただきたい!と呼びかけましたが、どうだったでしょうか?ひきつづき本年度も1人10冊以上をめざして頑張ってください。

昨年度より学校全体が改修工事を行っているために落ち着かないところもありますが、こんな時こそ大いに図書館を利用してほしいと思います。

下記、平成20年度図書ベスト10を見てびっくりいたしました。有川浩(ひろ)さんの「図書館戦争」他4冊がベスト10に入っているではありませんかこれは!図書館についてのいろいろな提言をしている本かな?と思って本を手にしたが、そうではありませんでした。それにしてもこんなに読まれているということに感動いたしました。

「ああ!このような本が、学生に人気があるんだ」と、少し勉強になりました。

そこで提案です。今後、おそらくそう遠くはない時期に図書館の改修工事が行われることが予想されます。それに備えて学生からの要望を取りまとめおきたいと

思います。利用する学生のための図書館です。どのような要望でも、こんな図書館だったらいいな、と思うことをメモにして、どんどん図書館に提出してください。その要望が満たされるような図書館になれば最高だと思っております。

私が、考えていることがひとつあります。それは学習教材としてのDVDがディスプレイで見られるようなスペースがあったらいいな、しかも10台位あればいいな、等と考えております。これからは図書館も、視聴覚機能を備えた図書館に変革していかなければと思っております。学生諸君の斬新なアイデア、要望を期待しております。

今「活字離れ」ということが言われ「読み、書き、そろばん」の見つめなおしが行われてきております。読書することは、創造教育の根本であると思っております。本を読むことによって、想像力が豊かになり、難しい漢字も覚え、ポキャブラリーも増えてきます。書くことによって字を覚え、字が上手になり、相手に自分の思っていることを伝えることができます。そろばんは現代的には電卓でしょうか、それは違います。簡単な計算は筆算や暗算で素早く計算する能力のことです。もう一度、物のなかった昔に戻っていろいろ考え直してみませんか。

今年度の学生図書委員名と平成20年度の図書ベスト10、そして開館日と閉館日をお知らせします。

学生図書委員皆さんの活躍を期待しております。

◎21年度学生図書委員名簿

年	機械工学科	電気電子工学科	制御情報工学科	物質工学科
1	高橋 涼	安食 朋寛	佐藤 史隆	高山 豪
2	後藤 幸恵	五十嵐 拓	今井 優貴	柴崎 真緒
3	荒木 悠志	佐藤 光	齋藤 悠	本間 充瑠
4	松本 朋之	土門 豊	渡會 慶次	真山 泰治
5	菅野 拓哉	設楽 堅	バヤラ	村田 健太

平成20年度 図書ベスト10

1. 風が強く吹いている
2. 図書館戦争
3. 刑事の社会史
4. 死神の精度
5. 夜と霧
6. 図書館内乱
7. 流星の絆
8. 別冊図書館戦争(Ⅰ)
9. 別冊図書館戦争(Ⅱ)
10. 図書館革命

【開館日と閉館日】

開館日：平日 8時半～20時
土曜日 9時～17時
閉館日：日曜日、祝祭日、休業期間、学校行事日
空調設備も整っていますので冬も快適です。

機 械 工 学 科

新入生 一人一言



◆東 剛仁

難なく五年間、楽しく無事に過ごしていきたい。

◆阿部 智

日本の大黒柱になりたい。

◆阿部 将平

有名企業に勤めて日本の未来を支えたい。

◆井澤 孝允

自分と他人のために全てを頑張りたい。

◆石井 裕也

五年間しっかりと生活できるように頑張りたい。

◆伊藤 祐太

ここを無事に卒業していい技術者になりたい。

◆薄衣 奨平

ちゃんとした一人前の大人になりたい。

◆小野塚 琢磨

優秀な技術者になるため、5年間頑張りたい。

◆角田 力哉

立派な職につけるよう頑張りたい。

◆加藤 直樹

将来を見すえて、優れた技術者を目指したい。

◆河合 裕未

優れた技術者になれるよう頑張りたい。

◆桐澤 光基

文武両道を心懸ける。

◆国分 和明

どんな職についても恥かしくない技術者になる。

◆後藤 憲一

勉強についていけるように毎日頑張りたい。

◆後藤 優太

優秀な技術者になれるように頑張りたい。

◆佐藤 兼吾

クラスメイトと仲良く、楽しく過していきたい。

◆佐藤 皓一

地域に貢献できるような技術者を目指す。

◆佐藤 成平

高専を頑張って卒業して、億万長者になる。

◆佐藤 拓也

社会に出て、活躍できるよう頑張る。

◆佐藤 颯人

普通のことができる大人になれるよう頑張る。

◆佐藤 玄

自分の夢に向かって頑張ります！

◆清水 悠希

さまざまな分野でより高い所を目指して頑張る。

◆庄司 慶太

優れた技術者を目指して頑張りたい。

◆白幡 翼

ちゃんとした知識や技術を身につけたい。

◆菅原 裕貴

優れた技術者を目指して勉強を頑張っていく。

◆鈴木 健広

しっかり勉強し立派な技術者を目標に頑張る。

◆高橋 幸佑

立派な技術者になれるように頑張りたい。

◆高橋 拓也

部活と勉強をしっかりとがんばりたいです。

◆高橋 優樹

有名人になって、世界にはばたいていきたい。

◆高橋 涼

将来、機械関係の仕事に就けるように頑張りたい。

◆高橋 涼

勉強においていかれないように頑張りたいです。

◆瀧口 琢視

何ごとにもめげずに頑張っていきたい。

◆田宮 駿

モータースポーツ関係の会社を目指して頑張る。

◆土田 純平

最初のうちは数学を頑張りたい。

◆長岡 巧

信頼される技術者になれるように頑張りたいです。

◆長谷川 真帆

勉強をマジメに頑張りたい。

◆宮守 晃平

優れたエンジニアになりたい。

◆森 隆裕

海外でも活躍できる技術者になりたい。

◆山川 雄也

文武両道で5年間精一杯頑張りたい。

◆若木 辰心

勉強も部活も、全力で頑張っていきたい。

電気電子工学科

新入生
一人一言



◆安食 朋寛

赤点を取らないように頑張っていきたい。

◆阿部 孝史

赤点をとらないように楽しくすごしたいです。

◆阿部 舞斗

五年間しっかりと勉強し、いい技術者になりたい。

◆五十嵐 滉亮

5年間で卒業できるようにがんばります。

◆五十嵐 侑

新しい生活を新しい友と頑張りたい。

◆泉 拓磨

新しいことに挑戦したい。

◆伊藤 久範

楽しくがんばる。

◆岡部 哲也

高専で学習した事を将来に生かしたい。

◆小川 慶介

朝点呼がかなりしんどい。

◆小野 拓史

文武両道目指してがんばりたいです。

◆小野 稜平

進んで学び、技術を身に付けていきたい。

◆加賀谷 啓太郎

活躍できる技術者を目指していきたい。

◆門脇 圭佑

テストに向けて勉強を頑張っていきたい。

◆門脇 崇斗

無理無く自分のペースで頑張る。

◆河野 利信

集中して授業を受けたい。

◆小林 侑太

数学と電基は自習が一番。 しっかり勉強しよう。

◆小松 大悟

卒業できるように頑張りたい。

◆齋藤 真矢

楽しく・明るく・元気良く頑張りたい。

◆笹原 瑠偉

文武両道を目指し頑張ります。

◆佐竹 祐介

勉強を頑張って、いい成績をとりたい。

◆佐藤 智也

留年せず、5年間で卒業できるようにがんばりたい。

◆佐藤 壮晃

5年間で卒業できるようにがんばりたい。

◆佐藤 衛

将来の日本を支える技術者を目指し頑張りたい。

◆佐藤 裕麻

勉強と部活を両立させ楽しく過ごしたい。

◆佐藤 諒介

高専の名にはじめのように頑張ります。

◆佐藤 玲紀

電気技術者になれるように5年間頑張ります。

◆下妻 輝

自分の能力を高めて社会で活躍したい。

◆菅野 景斗

目標としている仕事に就職できるよう頑張りたい。

◆須田 庸佑

文武両道で留年しないよう頑張ります。

◆高梨 翔大

文武両道を目指して充実した生活を送りたい。

◆丹 佑二

金山中の名にはじめないように頑張りたい。

◆中西 涼

勉強と部活の両方に力を入れて頑張りたい。

◆中村 大輔

技術をしっかり身につけ将来にいかしたい。

◆樋口 哲也

計画的に勉強や寮生活を頑張りたい。

◆福井 隼

留年しねよーにがんばりまーす。

◆船越 聖

自分の扱える技術や知識を増やしたい。

◆舟山 厚志

すでにきついです。

◆本間 和樹

新しい自分を見つけてenjoyしたい。

◆本間 徹弥

目標を持って頑張りたい。

◆三浦 飛鳥

後悔はチャレンジした後すればいい!



機械工学科



電気電子工学科



制御情報工学科



物質工学科

制 御 情 報 工 学 科

新入生
一人一言



◆阿達 拓也

技術者になるための技術をしっかり学びたい。

◆安達 正人

技術者を目指して努力したい。

◆五十嵐 大賀

将来、社会に貢献できる技術者になりたい。

◆石黒 康平

一心不乱。

◆市川 喬裕

エンジニアになり、活躍できるように頑張りたい。

◆伊藤 航

留年しないで卒業できるように頑張りたい。

◆小野 歩

いい技術者を目指して頑張って勉強していく。

◆小野寺 百茄

赤点をとらないように、頑張ります。

◆加藤 正太

歴史に名前が残る技術者を目指して頑張りたい。

◆加藤 凱生

多くの人の役にたつものを将来につくりたい。

◆工藤 靖宗

進級できるように、頑張る。

◆小島 圭史

毎日、学校が楽しいです。

◆後藤 駿

留年しないようにがんばる。

◆後藤 翔太

やりがいのある仕事につける技術者になりたい。

◆今田 久大

自分の将来に役立てられるように勉強をしたい。

◆齋藤 雅直

Panasonicに入る。

◆佐藤 柊

勉強と部活動を両立できるように頑張りたい。

◆佐藤 貴洋

専門的な力を身につけて、将来にいかしたい。

◆佐藤 尚希

逃げない・めげない・くじけないで頑張りたい。

◆佐藤 史隆

テストで80点くらいとりたいです。

◆佐藤 雅記

部活と勉強の両立をし、どちらでも頑張りたい。

◆佐藤 充

遊びもほどほどにして、勉強もしっかりしたい。

◆佐藤 由弥

進級できるように、毎日の勉強を頑張っていく。

◆須貝 優磨

一生懸命勉強して、自分の夢を実現させたい。

◆菅原 綾望

5年間、毎日笑って過ごす(^ ^)／

◆菅原 諒

留年しないように頑張りたい。

◆鈴木 康哲

単位を落とさないように頑張りたい。

◆田村 宏恵

技術者となれるように頑張りたい。

◆難波 周斗

楽しく充実した生活を送るために頑張りたい。

◆新野 貴達

留年しないようにがんばりたい。

◆早坂 佑太

とりあえず卒業したい。

◆平瀬 数馬

たくさんの技術を身に付けられるよう頑張りたい。

◆藤澤 哲平

やれるだけの事を精一杯頑張りたい。

◆三浦 収

進級したい。進級したい。進級したい。

◆水口 映花

何事にも突っ走る!!一人前の技術者を目指す!

◆森 慎太郎

プログラミング言語をマスターしたい。

◆山本 航

卒業を目指して頑張りたい。

◆横田 航

進級できるようにがんばりたい。

◆渡部 真

早く学校に慣れ、テストや勉強に力をいれたい。

◆渡部 立

情報技術の発展に貢献できるよう頑張りたい。

物質工学科

新入生
一人一言



◆安彦 政美

将来の夢に向かって頑張っていきたいです。

◆五十嵐 奈美

専門的な知識を身につけたい。

◆石塚 安沙子

勉強おいてかれないように頑張っぞ——!!!

◆石塚 卓也

大企業の社長になれるように頑張りたい。

◆石塚 まりむ

5年間留年せず青春をまっとうする!!

◆伊藤 佐久磨

自分の夢を実現できるよう頑張りたい。

◆今井 航大

新人戦で鶴工倒して高専の時代をつくる!

◆上野 啄臣

赤点取らないようにする。頑張る。

◆薄井 亮磨

社会への貢献を目指して頑張りたい。

◆遠藤 航太

お偉いさんを目指す。

◆岡田 亮二

充実した5年間にするために頑張りたい。

◆乙坂 樹輝

高い技術を身につけられるように頑張りたい。

◆金子 福明

立派な化学者になれるように頑張りたいです。

◆菅野 彩弥香

楽しく頑張りたいと思います。

◆北村 貴之

試験などで赤点をとらないように頑張りたい。

◆工藤 弘晶

留年しないように頑張る。

◆國井 竜太

自分の知識をもっと大きくしていきたい。

◆黒沼 耀介

自分なりに、せいっぱい頑張る。

◆小鷹 樹

くじけず頑張りたい。

◆後藤 詠美

虫の多さにくじけないように頑張ります。

◆齋藤 まり奈

学校生活を充実した楽しいものにしたいです☆

◆佐藤 和志

自分の学力を上げられるように頑張りたい。

◆佐藤 大人

立派な大人になれるように頑張りたい。

◆鈴木 綾乃

恋も部活も勉強も全部一生懸命頑張ります!

◆鈴木 沙英

個性的な技術者目指して頑張りたい。

◆鈴木 りな

苦手教科を克服できるように頑張りたいです!

◆諏訪 瑞季

学食のメニュー全部制覇できるよう努力します!

◆関本 早希

有意義な学校生活を送れるよう頑張りたいです。

◆高橋 重光

テスト全部がんばるぞ〜。

◆高山 豪

日本の技術に新たな風を吹きこんでやりたい。

◆田苗 咲由希

高専生活を思いっきり楽しみたいです☆

◆中村 翼

部活も勉強も健康管理も頑張る。

◆成田 智洋

勉強を一生懸命頑張ります。

◆難波 勇介

新人戦で良い成績が残せるように頑張ります。

◆早坂 聡一郎

勉強や部活を頑張り、毎日楽しく生活したい。

◆平泉 功太

早寝早起きします。

◆古野 豪人

早く実験した—————い!!

◆堀 拓末

社会に貢献できるような人間になりたい。

◆御船 俊弥

勉強が難しくなったので、毎日勉強を頑張る。

◆脇元 風花

しっかり目標を持ち勉強を頑張りたいです☆

専攻科

新入生 一人一言



◎機械電気システム工学専攻

- ◆荒木 利仁
毎日をスペシャルにしたい。
- ◆今井 太一
専攻科では、よく学び、よく遊び、充実した2年間を送りたいです。
- ◆大江 亮
野菜からは良い栄養をもらって、友達からは良い影響をもらって過ごして生きたい!!
- ◆大瀧 欣也
行けるトコまで行こうじゃないか。
- ◆粕谷 知里
毎日楽しい。勉強して研究して資格とって遊んで充実した2年間をしたい!
- ◆小池 崇弘
自分に足りないものを一ずつ確認し、補って行きたい。
- ◆小松 聖
専攻科では多くの知識を身につけ、充実した2年間をしたいと思います。
- ◆金 拓弥
計画性をもって研究に取り組み、満足のいく結果を残せるように頑張りたい。
- ◆今野 雄太
研究、勉強共に自分の満足できる結果が出せるよう頑張りたい。
- ◆齋藤 航平
短い専攻科生活なので悔いが残らないようにがんばります。
- ◆坂本 俊平
これからの2年は、ただ本科の継続ではなく新たなことに挑戦していく。
2年間が自分の力になるように努力する。
- ◆佐藤 隼也
専攻科では研究をメインに頑張り、資格取得やTOEICのハイスコアを目指したいと思います。
- ◆佐藤 翔
誘電体の特性をしっかりと計測できるようにし、専門科目だけでなく英語の勉強も頑張っていきたい。
- ◆佐藤 健夫
最終的に自分が納得できる結果が出せるよう、マイペースで頑張ろうと思います。
- ◆芝山 慎一
10÷3を割り切りたいです。

- ◆鈴木 剛
専攻科研究に励みなんらかの成果をあげられるよう頑張る。
- ◆鈴木 雅程
日々の勉強を怠らず、研究生活に没頭する。
- ◆高橋 聡
あと2年間頑張る。を目標にします。
- ◆成沢 翔平
これから本格的に研究も始まり、課題やレポートなどでますます忙しくなってくると思うが、勉強だけにとらわれず学生生活を楽しみたい。
- ◆平田 慎太郎
2年間で自分をもっと成長させたい。
- ◆渡邊 宏仁
本科生とは一味違う観点で物事を捉えていきたい。
心機一転、これから二年、自分の人生でプラスになるように気合い入れて頑張ります!

◎物質工学専攻

- ◆五十嵐 辰也
海外で活躍する技術者を目指して頑張りたい。
- ◆石井 賢
2年間研究を頑張っていけます。
今年中にTOEIC400点以上、研究のために電気化学をがんばります。
- ◆石塚 竹生
自分なりに自分らしく頑張りたい。
- ◆大矢 康太
様々なことを学び、努力していきたい。
- ◆平田 匠
超南がいなくなったら卒業できるもんツツ☆
そうさ、AKB48が頑張るなら俺だって研究頑張れるんだから!!
- ◆本間 大海
祖国繁栄の礎となれるような技術者をめざしたい。
- ◆村上 元矢
長島“自演乙”雄一郎選手のように華々しくデビューして散りたいです。
いつまでもピーターパンでいたい。
- ◆山田将士
2年間しっかりと学びつつ、専攻科研究を成果を残して卒業したい。

編入生 新留学生

新入生
一人一言



◎編入生

◆齋藤 詳晃 (4E)

高専の勉強は難しいので復習や予習を行い、他のみんなについていけるように頑張りたいと思います。

◆長谷川 晋也 (4I)

予習・復習を毎日行ない、授業についていけるように頑張りたい。図書館で様々な知識を蓄えたい。

◆本間 達也 (4I)

授業が難しい内容ばかりですが、赤点をとらずに無事に卒業して、就職できるように頑張りたいです。

◎新留学生

◆ソーン (3E) THEPPHOUMY SOUPHATSONE

私はラオスのスーパーソンと申します。
これから勉強や楽しい生活になれるために
頑張りたいです。

◆アルフィン (3B) ALVIN MARIOGANI

鶴岡高専に来てからもう2ヶ月ぐらい経ちました。
最初は不安はありましたが、だんだん慣れてきました。
進学するために高専で頑張りたいと思います。

小谷 卓教授 (物質工学科) が 環境やまがた大賞を受賞しました

去る6月5日(金)、山形市内で行われた県地球温暖化
防止県民運動推進大会において、「環境やまがた大賞」の表彰式が

行われ、高橋山形県副知事から、大賞受賞者である本校物質工学科の小谷卓教授へ表彰状が贈られました。

「環境やまがた大賞」は、山形県が平成11年度に創設し、地球環境または地域環境の保全と創造に関する普及啓発及び実践活動に大きな成果が認められる個人または団体の顕彰を行っているもので、今回で10回目の表彰となります。

小谷教授は、これまで、鶴岡市の環境啓発イベント「環境フェアつるおか」を第1回から実行委員長として開催を継続するなど、同市を含む庄内地域の環境関連団体や機関の会長等としても地域における取組みを牽引する活動を行っており、今回の受賞は、これら地域における環境保全の取組への貢献が認められたものであります。

なお、本校では、平成15年3月に、ゴミの分別徹底やペーパーレス化及び長年にわたる地域住民と寮生とのクリーン活動等の活動が認められ、学校として同賞を受賞しております。



副知事から表彰を受ける小谷教授 (右)



金山杉の表彰状
(「環境やまがた大賞」ならでは!)

鶴報

学校便り増刊号!

発行日 2009年7月
第1号 学生会 広報
発行者 菅埜諒介

今回は、

インタビュー企画!

文科省検定済教科書の内容を改変した
4B高橋研一さん
田辺聖子文学賞を受賞した
4I秋野寛斉さん
突撃アポなし
インタビューですッ!

※アポありです



始業式の受賞の様子



菅埜 「ども、はじめまして。広報の菅埜諒介です。よろしくお願ひします。」

高橋 「4B高橋研一です。鶴岡第一中学校出身です。」

菅埜 「発見を分かりやすく教えてください」

高橋 「ゴム状硫黄の真の色は黒色でなく黄色だった。不純物によって黒くなっていた、ということですよ。」

菅埜 「研究のきっかけを教えてください。」

高橋 「金網秀典先生の昔、黄色のゴム状硫黄ができた」というご発言です。」

菅埜 「評価されてどうですか?」

高橋 「評価されたのは嬉しいです。同時に責任がのしかかって苦しいです。」

菅埜 「周りの反応はどうですか?」

すか?」

高橋 「親は素直に喜びました。妹は『なんでコイツが?ありえね』といった顔をしていました(笑)」

菅埜 「今までどんな研究をしてきましたか?」

高橋 「イラガの蛍光物質の研究を。これもっと調べなくては。」

菅埜 「将来は?」

高橋 「未定です。やってないことが多すぎて一つに絞れません。」

菅埜 「最近気になることはありますか?」

高橋 「お茶が好きでよく飲むのですが茶渋がどのように器につくのか気になります。」

菅埜 「なにか言いたいことがあればどうぞ。」

高橋 「化学部は、火・水・金16:30、物質棟入って左突き当たりの実験室です。」

菅埜 「ズバリ、あなたにとって化学とは?」

高橋 「自分の核をなすものですね。」

菅埜 「最後に一言」

高橋 「今後も速慮なく意見を仰ってください」



菅埜 「はじめまして広報の菅埜です。」

秋野 「4I秋野寛斉です。鶴岡第5中学校出身です。」

菅埜 「作品について教えてください。」

秋野 「『夢』をテーマに、この世の中に産まれてきたことだけでも夢であるのに、日本という素晴らしい国に生まれてここまで生きてきたことに対しての思いをこの句に綴りました。」

菅埜 「評価されてどうですか?」

秋野 「とても光栄に思います。」

菅埜 「周りの反応は?」

秋野 「皆驚くと同時に喜んでいました。」

菅埜 「いいことはありませんか?」

たか?」

秋野 「最優秀賞がとれたことで、林真理子先生と田辺聖子先生に直接お会いできました。」

菅埜 「川柳は好きでしたか?」

秋野 「中学のころから興味がありました。」

菅埜 「5・7・5のリズムの中に自分の思いを込められるということが好きです。」

菅埜 「これからどのような作品を手がけたいですか?」

秋野 「これまで通り、自分らしい作品を作りたいです。」

菅埜 「あなたにとって川柳とは?」

秋野 「人生の相棒です」

菅埜 「最後に一言」

秋野 「大河内邦子先生はじめ応援してください。皆様、応援ありがとうございました。」

菅埜 「今後精進します。」

菅埜 「『鶴報』は学生会が発行している機関誌です。学校行事や、部活動の大会成績などを掲載しています。」

平成20年度資格取得者一覧 (クラス()内は平成21年度のもの)

実用英検 2級	佐藤保宜(5E)、佐藤大(4I)、渡會慶次(4I) 今野倫子(4B)、浅井啓輝(3I)、遠藤亘(3I)
実用英検 準2級	志田瑛輔(5M)、瀬尾研(5E)、村山翔一郎(5B)、広井一輝(4E) 山口智(4E)、大島悠(4B)、小野大樹(3M)、佐藤岳(3M) 柴田暁文(3M)、松平学幸(3M)、峯田遼(3M)、佐藤郁也(3E) 荒井寛史(3I)、伊藤大介(3I)、遠藤亘(3I)、後藤萌(3I) 斎藤太貴(3I)、斉藤優衣(3I)、進藤絵里(3I)、高橋歌穂(3I) 田村和輝(3I)、廣井絵美(3I)、御船雄太(3I)、山本克也(3I) 阿部博弥(3B)、余語麻瞳香(2M)、佐藤義紘(2I)、蛸井博(2I) 三浦美紀(2B)
工業英検 3級	阿部かおり(5B)、池田萩(5B)、伊藤拓馬(5B)、大井裕之(5B) 岡部芽実(5B)、オキ(5B)、木村喜容(5B)、齋藤美郷(5B) 佐藤大気(5B)、鈴木駿(5B)、星川悠太(5B)
乙種4類危険物取扱者	佐藤英明(5M)、田村直道(5E)、阿部晋也(4M)、飯田真平(4M) 池田晃(4M)、及川慶彦(4M)、岡田拓己(4M)、奥泉暢之(4M) 柿崎寿弥(4M)、小屋重誠(4M)、貞松翔(4M)、滝口朝幾(4M) 早坂大夢(4M)、本間一平(4M)、三浦宗一郎(4M)、堀隼人(4E) 石沢彰典(4B)、伊藤麻衣(4B)、笹山美紀(4B)、田村和輝(3I) 会田翔(3B)、阿部早紀(3B)、阿部諒平(3B)、石塚啓介(3B) 及川明香(3B)、小関恭史(3B)、菅原楽(3B)、田口貴之(3B) 星川遥(3B)、山口望美(3B)
2級ボイラー技士	池田光輝(4M)
第2種電気工事士	池澤亮介(5E)、佐藤孝成(4E)、佐藤成希(4E)、堀隼人(4E) 和田義行(4E)
ソフトウェア開発技術者	石沢裕(5I)
情報処理技術者試験(基本情報処理)	那須芳則(2008年度ME2、今春修了)

学生相談室のご案内

保健管理センター長 栗野 幸雄

昨年まで寮務主事をしていた関係で、これまでも保健管理センターとは関わりを持って来ましたが、4月からセンター長になりました。よろしくお願ひ致します。

充実した学生生活を送るには、健康な心身が必要です。でも、時にはいろいろな心配ごとや悩みごとが発生します。

保健管理センターの役割は、学生及び教職員の心身の健康維持と増進を図ることです。具体的には、相談室機能と保健室機能を果たすことです。それぞれの内容は、以下のように要約できます。

① 相談室機能

学生の修学、進路、学生生活全般、メンタルヘルス、各種ハラスメント、その他。

② 保健室機能

学校保健、健康診断の実施、疾病と傷害への対応、環境衛生、その他健康管理等。

ここでは特に前者の学生相談室について、ご案内致します。教室に下のパンフレットを貼っていますが、ご覧

頂いてますか？

友達のこと、学習のこと、進級や進路のこと、精神衛生上や身体上の健康のことなど、悩みの相談に応じています。悩みを持つことはごく当たり前のことです。

学生相談室では、パンフレットの7名の相談員が待っています。相談内容については固く秘密を守ります。相談員には、学外からスクールカウンセラーとして臨床心理士の加藤早苗先生にも加わって頂いております。学内の相談員もスキルアップを目指し、各種研修会への参加も予定しているところです。

相談相手は友人でも家族でも担任の先生でも結構ですが、悩みを発信しないと解決への道は開かれませんが、ちょっとした心配ごとでも、特に悩みというまでに至らない些細なことでも、話を聞いてもらうだけで気持ちが軽くなります。

学生相談室が繁盛しないことを願いますが、困ったときには学生相談室に来てください。

学生相談室ってどんなところ？

何事より先にお知らせ！ 保健管理センター

一人ひとりが充実した学生生活を送るためにサポートさせていただきます。

- どんな話でも聞いてくれます。
- 専門のカウンセラーと相談員がいます。
- 一人で悩んでいないで、いつでも相談に来てください。
- もちろん、話の内容については秘密を守ります。

たとえばこんな事…話して許せんか？

- 学習のこと（授業・成績など）
- 進路のこと（就職・進学など将来のこと）
- 学校生活のこと（友人関係・部活動のこと）
- 精神衛生上のこと（やる気がわかないなど）
- セクシャルハラスメント・アカデミーハラスメント
- その他、個人的な問題 などなど…

いつ、どこに行けばいいの？

………学生相談室は保健室の隣です。………

- 相談員との相談は、随時それぞれの教員室・事務室へ
- 看護部との相談は、随時保健室へ
- スクールカウンセラーとの相談は、学生相談室へ（予約が必要です。）
- 誰に相談すればいいか迷ったときは、看護部に確認してください。

新着の中心、手紙は各相談室まで、電話、メールでもOKです。

電話 (0235) 25-9030 (保健室) 平日 9:30-17:15
メール student@taurus.ac.jp

私たちが学生相談室員です！

加藤 早苗
臨床心理士
毎週水曜日 15:30-17:30

学生相談室長
教員工学科
栗野 幸雄

学生相談室員
学生課
橋本 美佐子

学生相談室員
看護工学科
竹村 学

学生相談室員
学生課
武市 義弘

学生相談室員
教員工学科 英語
畑江 美佳

学生相談室員 学生課
高砂科科長 高砂科科員
本間 浩二

保健室長(カウンセラー)
学生課
村山 智子

高専ロボコン 2009東北地区大会

高専ロボコン2009
東北地区大会競技委員長

機械工学科 白野 啓一



高専ロボコン2009東北大会は本校が担当校となり、来る10月4日(日)に鶴岡市小真木原総合体育館で開催されます。テーマは「ダンシングカップル」で、ゴールを競うスピード勝負ではなく、3分間の競技時間内に、2台の歩行ロボットが協力して、設定されたダンスパフォーマンスの課題をクリアして得点していくというものです。昨年度の2足歩行ロボットを更に発展させた課題で、ロボット同士が意思疎通をはかって共にダンスを踊るというまさに心(?)を持ったロボットというイメージの課題です。それだけ難しく、またアイデアを必要とするテーマです。



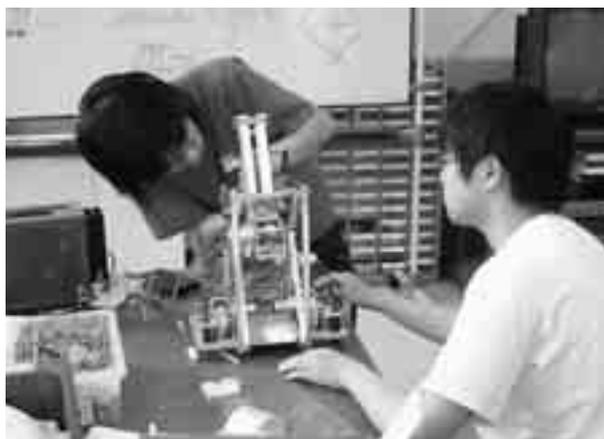
各校の出場枠は2チームです。本校からは、今年度は5年生チームとロボット研究会チームが出場することになりました。現在はアイデアを出し、検討し、不明なところは試作して部分的実験を行い、構想をまとめているところです。苦しくも楽しく、充実した日々を過ごしているところです。新入生の中にはロボコンに出場したくて入学して来る学生も多く、ロボット研究会には今年度も沢山

入会しました。毎日、授業が終わった午後4時半頃から8時20分まで、活動室(実習工場の電気実習室を使っています)で各パートに分かれて活動しています。ロボットを設計製作する機械班、制御する制御班そして制御



に必要な回路を作る電気班です。ときどきロボットが試合中に一歩も動かないという状況を見ます。ロボットは動作するには、全ての部分がパーフェクトである必要があり、どの仕事も気を抜けません。

今年度は本校が東北大会の担当校ということで、これまで準備に担当各位にお世話になっています。大会が近づいたら、会場設営や大会運営、試合の応援等々で教職員、一般学生の皆さんにも多大なご協力をお願いすることになります。よろしくお祈りします。また地元開催ですので、保護者の皆様、同窓会の皆様にもお出でいただき、ご子息、後輩の活躍を観戦いただければ幸いです。



離任しました



前総合科学科
佐々木 良 勝
(現広島大学)

4月1日付で広島大学理学部数学科・大学院理学研究科数学専攻に着任しました。大学進学以来16年ぶりに昨春庄内へ舞い戻ったばかりでしたが、私と近い専門分野の方が転出された後を受け、広大で教鞭を執ることになりました。

異動・引越・結婚で忙しい春も過ぎ、ようやく落ち着いた日々を取り戻した今日この頃です。

先日学内で、この春広大に進学した鶴岡高専の卒業生が声を掛けてくれました。仲間と一緒に運動中で、学生生活を満喫している様子でした。学に志して遠きを顧みず進む、その意気やよし！

私が所属する数理解析講座にも編入学した大学院生が複数おり、『編入学生は優秀』だとの評価を得ています。

広島大学の母体は中等教育(今の中学・高校)の教員養成機関たる広島高等師範学校(=高師)であり、高い研究教育水準を誇った専攻科が改組発展して広島文理科大学、さらに広島大学となりました。かような沿革から、広島大学は帝国大学未設置の中四国地方における研究拠点大学として、また西日本における教育学の総本山として重きをなしています。

所在地である東広島市鏡山は夏でも27~28℃、冬は降雪が少なく、フランスのニースにも例えられる、研究生活には快適な気候です。

私はここで研究に邁進します。鶴岡高専の諸君も社会が高く評価するその能力で、どうか自らの道を邁進されますよう。

鶴岡高専の皆さま、1年間有難うございました。



前学生課長
土 門 貞 三
(現秋田大学教育推進課長)

17年半勤めた山形大学から人事交流で鶴岡高専に異動して来たのが平成6年4月。その後、引越して子どもが転校しなくてもよいようにと鶴岡を本拠と定め、人事交流ではなく名実ともに鶴岡高専の職員として15年間お世話になり

ました。

以来、3課(当時)4係にわたり、大学では経験できないであろう高専体育大会や学生指導関係、女子寮の再開準備をはじめとした学寮業務、独立行政法人化に当たっての準備等種々の仕事をさせていただきました。当時はすべてが初めてのことであり苦勞しましたが、今となっては貴重な体験になったと思っています。

この度初めて山形県外に住むことになりました。秋田県と山形県は隣県ということで、古から人の往来、交易もあり、なじみがあったので、異動してきてもさほど違和感を感じないでおります。ただ、高専と大学の違いで感じることは、大学生は自由だがすべてが自己責任であるということ。一方、高専生は規制が多く自由度が少ない反面、教員との関わりが強く手厚いということです。それが、社会から評価されている高専の教育力なのだと確信します。

末筆ながら、今年度のロボットコンテスト東北地区大会当番校、来年度の東北地区高専体育大会A主管校として大会が成功すること、そして鶴岡高専が益々躍進されることを祈念します。



前企画室 企画・連携係長
江 口 裕 之
(現山形大学医学部係長)

平成18年4月から3年間、大変お世話になりました。省みますれば、平成18年度に発足した企画室と企画・連携係は、当面の課題として、平成19年度に大学評価・学位授与機構の機関別認証評価を受審することが挙げられており、自己評価書の作成が進められていたところでした。自己評価書の作成では、担当の先生方が連日連夜作業にあたられ、そのパワーに圧倒されました。また、現代GPやNEDOの大型の外部資金の採択があり、教育・研究のレベルの高さを知ることができました。さらには、市民サロン、産業技術フォーラムなどを通して、地元企業の方々と交流することができ、地元に着した活動をしていることを実感することができました。

離任の挨拶のつもりでしたが、3年間の思い出話になってしまいました。

鶴岡高専の益々のご発展と皆様のご健勝、お活躍をお祈りいたします。ありがとうございました。

着任しました



総合科学科
木村 太郎

大学進学と同時に故郷である秋田を離れ、13年ぶりに東北の地に戻り、こちらで勤務することになりました。

学生時代は色々な経験をしながら、数学の研究をして参りました。この経験を学生のみなさんに伝えながら教育していきたいと思ひます。

また13年ぶりの東北の地での生活ですので、気候に早く慣れ、充実した日々を送りたいと思ひます。

まだまだ人間的に未熟な部分もありますが、教育・研究の両面において頑張りますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



総合科学科
主濱 祐二

4月1日付で、総合科学科助教に着任いたしました。3月までは、岩手県の公立高校に勤務してました。生徒たちの、何とか英語で伝えようと頑張る姿。試合で勝って、負けて、泣いている姿。私自身生徒会担当として携わった文化祭で盛り上がっている姿。そんな思い出と一緒に、鶴岡高専に来ました。

赴任して2ヶ月、授業はもちろん、寮生活、中学校招待体育大会、校内体育大会の様子を見ながら、「自立した学生たちがたくさんいる」と実感しています。ただ、「もっとできる」とも感じます。私の専門は英語学なので、当然学生の専門に関する助言はできませんが、学生時代のアメリカ留学や高校での勤務経験を活かして、学生が英語の力を伸ばし、広い視野を持てるよう、微力ながら学生の力になりたいと考えています。



学生課長
橋本 美佐子

この4月1日付けで弘前大学から赴任いたしました。着任早々、入学式・入寮式等の行事が続く、皆様に支えていただきながらも緊張の毎日で、桜の花を愛でる間もなく、あっという間に春が過ぎたように思ひます。およそ一昔前、八戸高専に

3年程勤務したこともありましたが、法人化前のことでもあり、高専の状況も、それを取り巻く環境もすっかり変化しており、すべてが新鮮で毎日が勉強です。

ご覧(お聞き)のとおり、すっかり津軽弁の私ですが、実は鶴岡の生まれです。(ついでに白状すると生年も高専とほぼ同年です。)とは言え、物心つく前に転居してしまいましたので、鶴岡に住んだという実感は無く、今回の異動の内示があった時には、驚き・嬉しさと同時に、この地に「呼ばれた」という思いがしました。鶴岡市内に住む親戚から時折送られてくるお米や野菜、漬物や果物などで庄内の味には馴染んできたつもりでしたが、やはり実際に生活してみなければわからないことが多々あるということを実感しています。

センチメンタルな思入れや愛着だけでは仕事ができないのは心しておりますが、豊かな自然と温かい人情に包まれて、もう一度この鶴岡に育ててもらっている心持ちです。ここ鶴岡高専で少しでも皆様のお役に立てるような仕事をするのが、ささやかながらも故郷孝行になればと思っております。どうぞ、よろしくお願ひいたします。



企画室 企画・連携係長
上林 百合

4月1日付けで企画室企画・連携係に異動なりました上林です。23年間鶴岡高専にお世話になり、その後17年間山形大学に勤務し、この度古巣に戻って参りました。よろしくお願ひいたします。鶴岡高専も私が以前勤務していた頃とは大分様変わりをしており、建物は増え、改修工事ですっかりリニューアルしており、驚いております。教員も私がいた当時の先生は大分退職していますが、事務職員は山形大学との人事交流が盛んなこともあり、顔見知りの方が多数おられます。仕事をするうえで、心強い限りです。今後は少しでも鶴岡高専の発展のために微力ではありますが、頑張っていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

早速ですが、ここで仕事のPRをさせて頂きたいのですが、年々1%の運営費交付金が減額されているのが現状です。積極的な仕事を展開するには、まず資金が必要です。忙しい毎日とは思ひますが、申請をしないことには採択はあり得ませんので、是非、外部資金獲得のためご応募くださいますようよろしくお願ひいたします。

1号館北棟及び中央棟校舎が新しくなりました!



1号館1Fと3Fに設けられた
リフレッシュルーム

工事はじまった
2号館

昨年の秋に着工した1号館北棟及び中央棟校舎の改修工事が、今年の3月に竣工いたしました。耐震面での安全性確保に加え、リフレッシュルーム等、快適な学校生活を送っていただくためのスペースを新たに設けております。

なお、今年度については、2号館及び1号館南棟校舎の改修工事を予定しており、既に2号館の工事は着工しております。学生はじめ関係者の方には、大変不便をお掛けすることとなりますが、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

総務課

7月からの主な学校行事等

7月

東北高専体育大会 ……………4日～5日
秋田会場（陸上競技・バスケットボール・卓球・剣道
テニス・ハンドボール）
（ラグビーフットボール10/17～20開催）
仙台会場（バレーボール・ソフトテニス・柔道・硬式野球
サッカー・水泳・バドミントン）
専攻科入学試験（学力）……………7日
終業行事……………24日
1年～3年生保護者懇談会……………25日～26日

8月

中学生一日体験入学……………1日
親子で楽しむ科学の祭典……………2日
全国高専体育大会（九州・沖縄地区）……………18日～28日
編入学試験（推薦）……………20日
始業行事……………31日

9月

中学生対抗エコロボコン……………5日
期末試験……………24日～30日

10月

ロボコン東北大会（鶴岡）……………3日～4日
高専祭……………24日～25日

11月

工場見学旅行（4年生）……………10日～13日

12月

寮生体育大会……………8日
編入学試験（学力）……………16日
終業（1～4年生）……………22日

1月

始業行事……………12日
入学試験（推薦）……………24日

2月

卒業試験（5年生）……………4日～9日
卒業研究発表会……………15日～18日
入学試験（学力）……………21日
学年末試験（1～4年生）……………2月5日～3月4日

3月

卒業式・修了式……………19日